

夏休みのくらし

～安全に夏休みを過ごすために～

()年()組 名前()

下松市立久保小学校

① 外出時のやくそく

- 「だれと、どこへ、何をしに行き、いつごろ帰るのか。」を家の人に伝えて出る。
- 防犯ブザーを携帯する。
- ◎ 帰宅時刻を守る。※午後6時までには家に着く。
- 午後6時以降の外出は、大人同伴とする。
- 校区外に子どもだけで行かない。
※通院など特別な用事で出かける場合は、親に許可をもらって行く。

② 交通安全のやくそく

- 飛び出しをしない。
- 道路をわたるときは、いったん止まって、左右の安全を確認する。(止まる・見る・聞く・しめす)
- 安全を確かめるときは、運転手の顔をよく見る。
- 自転車は、安全点検をして、親に許可をもらって乗る。
- ヘルメットを必ずかぶり、正しい乗り方をする。
- ◎ 急な下りの坂道は乗らずにおす。
※星が丘入り口、久保中学校前、青葉台団地入り口、久保小学校前、恋路スポーツ公園前など
- 踏切は乗らずにおす。
- スポーツ少年団や通院など、特別な場合に校区外で自転車に乗るときは、大人同伴か、親に許可をもらって乗る。

③ 遊びのやくそく

- 道路で遊ばない。家の前の道路でも遊ばない。
(一輪車、ローラーブレード、キックボード等)
- 駐車場、倉庫、空き家、資材置場、工事現場など危険な所では遊ばない。
- 人の迷惑になる遊び方をしない。
(田畑など人のしき地、用水路で遊ばない)
- 線路の近くで遊んだり、線路にいたずら(置き石など)をしたりしない。
- 遊び方のきまりを守る。
- 海、川、飲食店、遊技場(ゲームセンター、ボウリング場、バッティングセンター、映画館など)へは、必ず大人といっしょに行く。
- ◎ 火遊びはしない。花火は大人といっしょにする。

④ 自分の身を守るためのやくそく

- 合い言葉『いか・の・お・す・し』を守る。
- 知らない人について いかない。
 - 知らない人の車に のらない。
 - 「助けて!!」と おおきな声を出す。
 - こわかったら 大人のいる方に すぐにげる。
 - どんな人が何をしたか、家の人に しらせる。
 - 知らない人から友だちの住所や電話番号を聞かれても答えない。
 - 用事がないときにはお店に入らない。
 - ◎ 万引きをぜったいにしない。

☆ 規則正しい生活について

- 午前10時までは家で過ごす。
- 地域の方へ気持ちのよいあいさつをする。
- 学校や公園などの公共の場所では、ゴミを捨てたりよごしたりせず、マナーを守る。

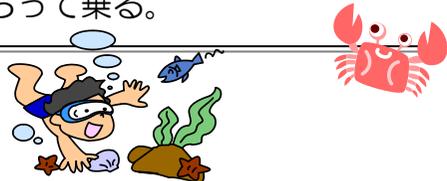
☆ 健康について

- 早寝早起きをする。
- きまりを守って水泳をする。
- ゲームは時間を決めてする。
- ◎ 家族の一員として手伝いを決めて実行する。



☆ その他

- ◎ 久保公民館を使うときは、あいさつをして入り、友だちどうしてゲームをするときは入らない。
- ◎ スマートフォンやけいたい電話、パソコンやゲーム機等でインターネットやメールをするときは、家の人と使い方について話し合い、時間などの家のきまりを必ず守る。むやみに情報を流したり、友だちの心を傷つけたりすることは絶対にしない。
- 事故や入院するようなけがや病気など、変わったことがあったら必ず学校へ知らせる。



久保小学校 TEL 46-0707
下松警察署 TEL 44-0110